

日本財団ボランティアサポートセンター ボランティアに関する調査

第1回サーベイ 結果報告書



サーベイ概要

ボランティア調査

本レポートは東京2020に向け、ボランティアの評価測定を今後定期的を実施するため、現状把握及び今後の評価軸となる項目を明らかにすることを目的とした調査です。

本調査の結果から得られる包括的かつ専門的なインサイトを基に現在の施策への効果測定及び今後2020年までの戦略構築などに役立てられます。

【調査概要】

2018年4月調査：3,800サンプル

- » 調査時期：2018年04月23日（月）～2018年04月24日（火）
- » 調査方法：インターネットウェブ定量調査
- » 調査対象：全国 20歳～69歳の男女
- » 調査地域：関東一都三県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）

注：調査回収は、関東一都三県の性別・年代の人口統計に合わせて回収

数値は小数点第2位以下を四捨五入して表示しているため、合計値が一致しない場合があります。

回答者割付及び回答領域

最終的なサンプル数はn=3,911。

【ボランティアの経験あり・なし】、【ボランティア興味あり・なし】の軸にて次の通り割付を行った。

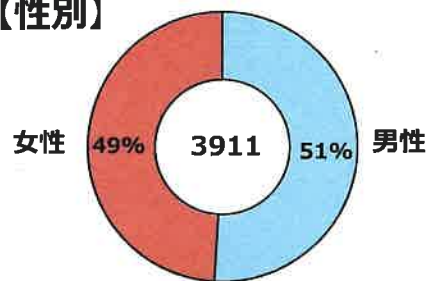
N=3,800の場合



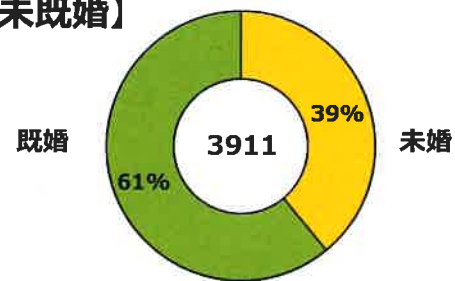
属性 (全体)

本調査では関東一都三県を対象に性別・年代の人口統計に合わせて回収した

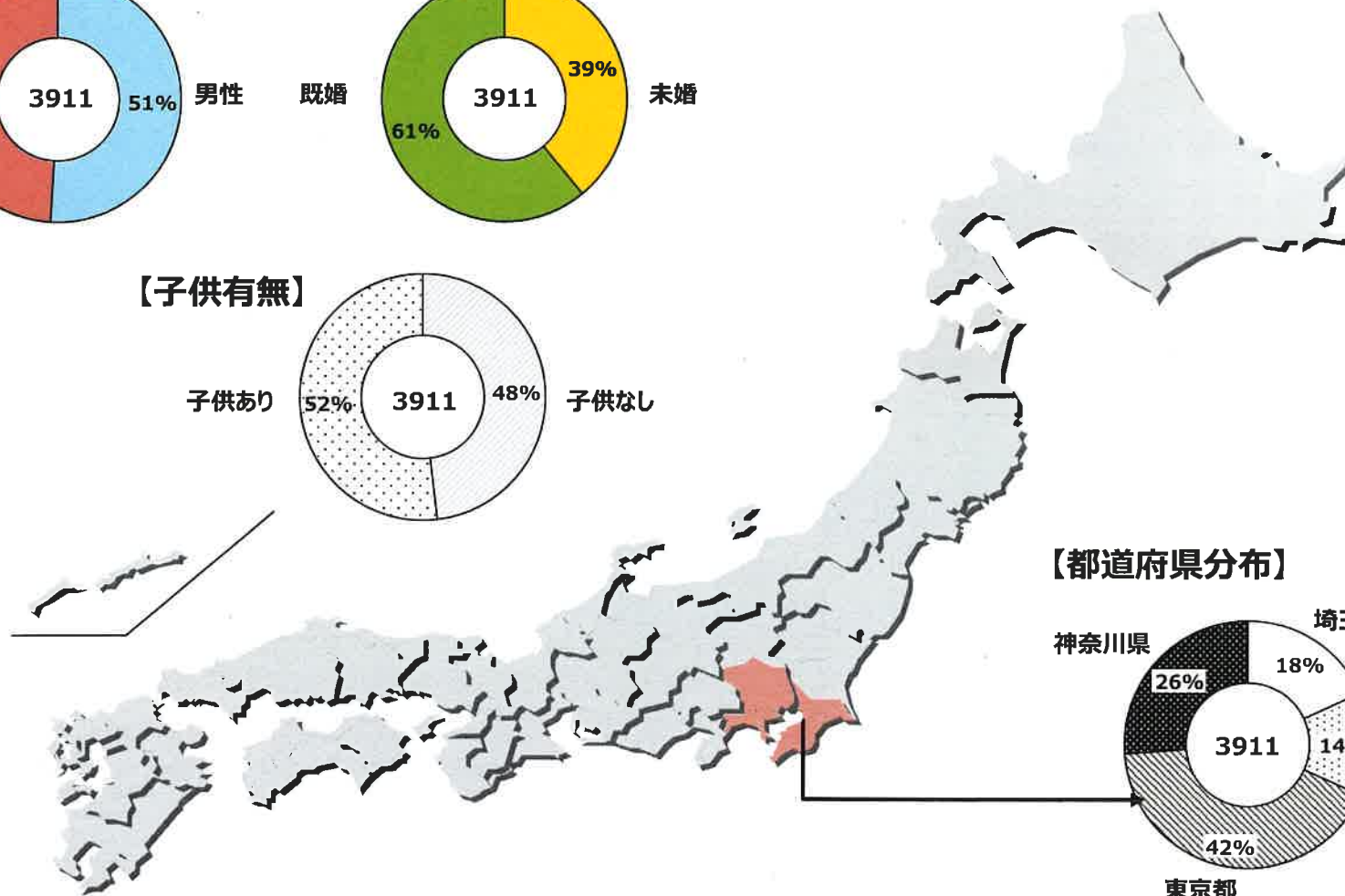
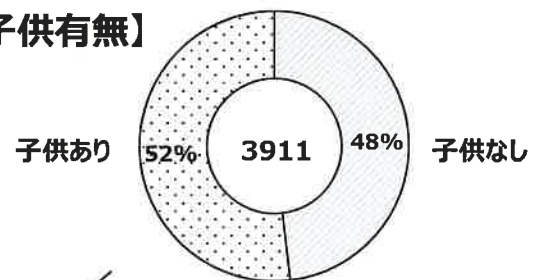
【性別】



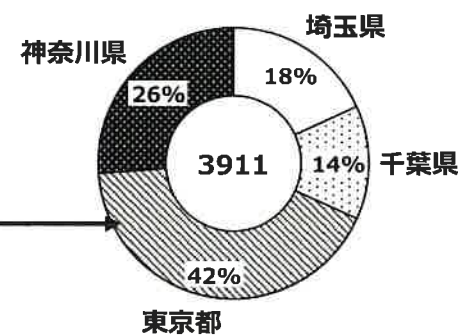
【未既婚】



【子供有無】

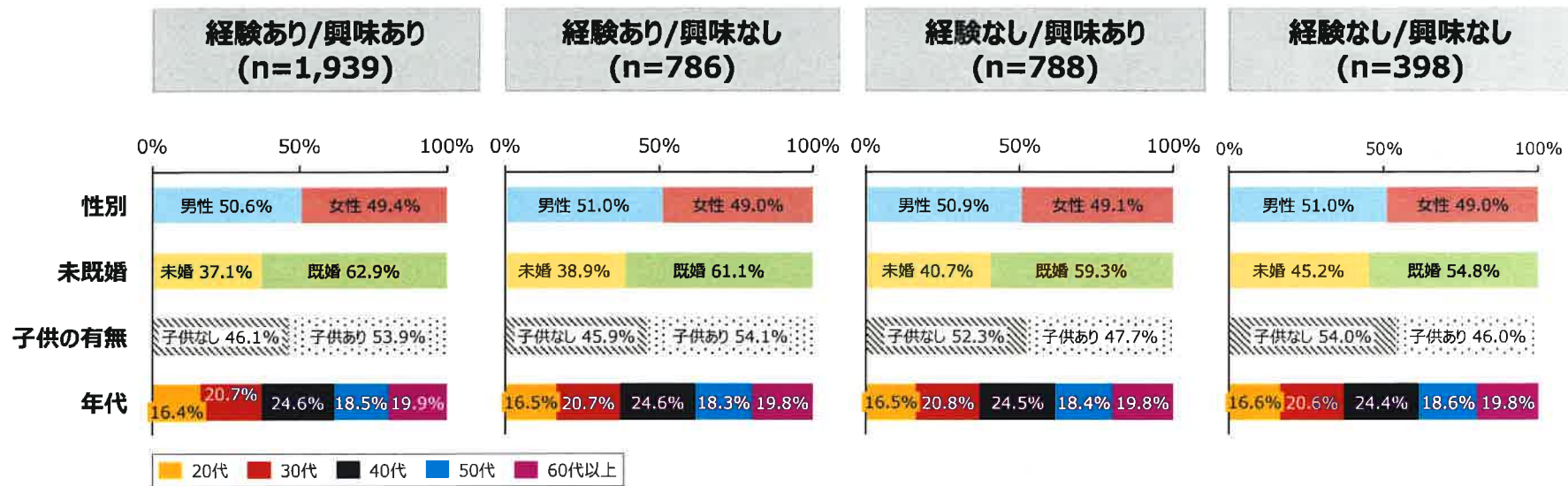


【都道府県分布】



属性（グループ毎）

4つの属性に振り分けられた際、ボランティア経験がある人ほど世帯年収が高く、特に経験あり/興味ありとしている人達が一番世帯年収及び個人年収も高く、ボランティア参加する人は経済的に少しゆとりがあることが推測される



平均年収（中央値）

属性	経験あり/興味あり (n=1,939)	経験あり/興味なし (n=786)	経験なし/興味あり (n=788)	経験なし/興味なし (n=398)
1) 世帯	566万円	513万円	490万円	460万円
2) 個人	361万円	327万円	329万円	309万円

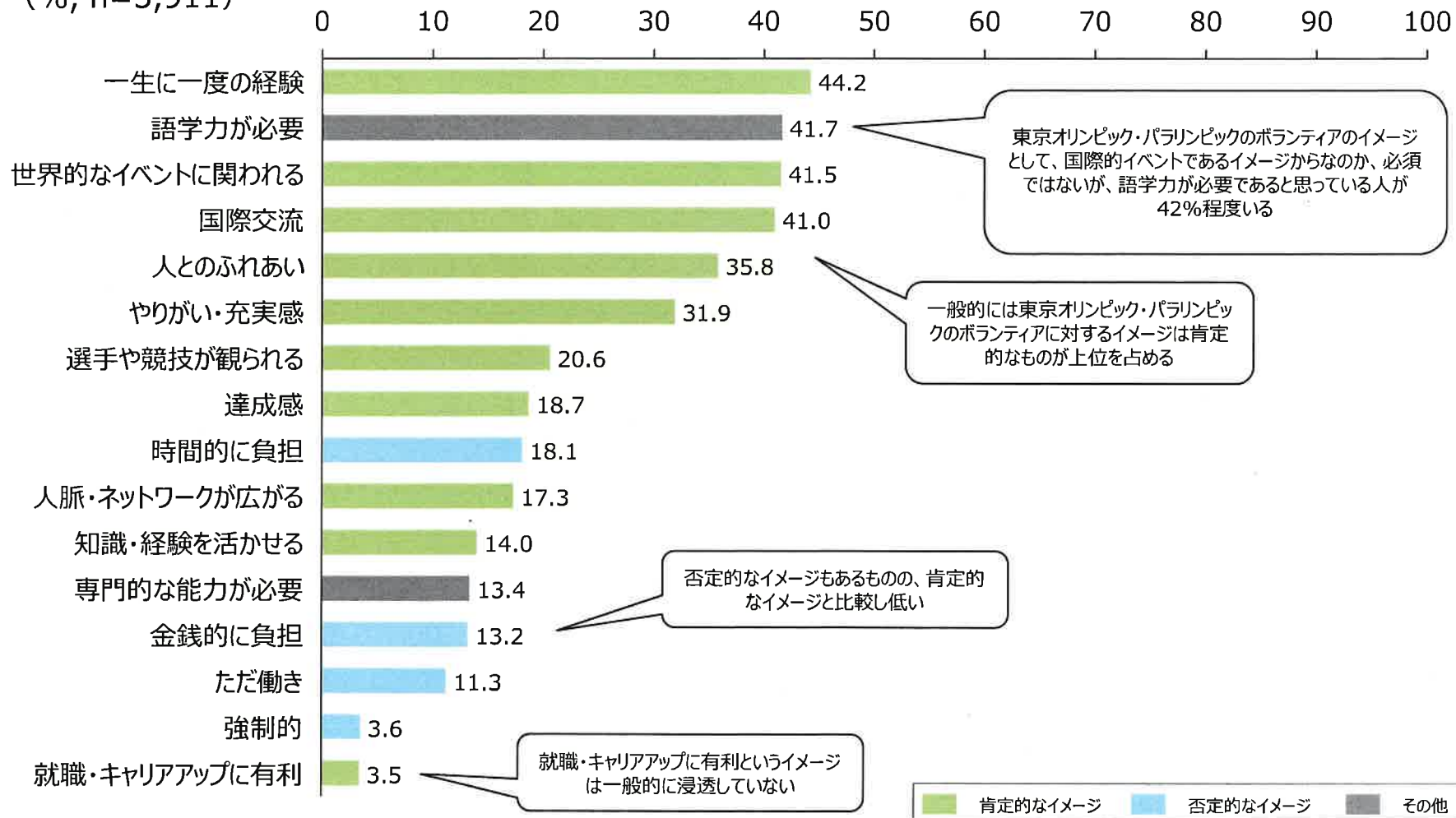
職業	経験あり/興味あり (n=1,939)	経験あり/興味なし (n=786)	経験なし/興味あり (n=788)	経験なし/興味なし (n=398)
1 会社員(事務系)	20.8%	21.1%	21.6%	17.8%
2 専業主婦(主夫)	20.2%	17.3%	17.8%	17.1%
3 パート・アルバイト	12.2%	12.1%	14.7%	13.6%
4 会社員(その他)	11.7%	11.5%	12.2%	12.3%
5 会社員(技術系)	10.8%	9.2%	8.6%	11.8%
6 無職	5.8%	8.1%	7.9%	8.5%
7 自営業	4.6%	4.6%	3.7%	6.0%
8 公務員	3.4%	3.8%	3.7%	3.0%
9 学生	3.3%	3.8%	3.2%	3.0%
10 その他	3.2%	3.4%	3.2%	3.0%
11 自由業	2.1%	3.1%	2.2%	2.3%
12 経営者・役員	2.0%	2.0%	1.4%	1.5%

オリンピック・パラリンピックボランティアに対するイメージ

オリンピック・パラリンピックボランティアのイメージとしては肯定的なイメージが上位を占めるが、国際的イベントなイメージが強いからか、必須条件ではない語学力が必要というイメージが高くみられた

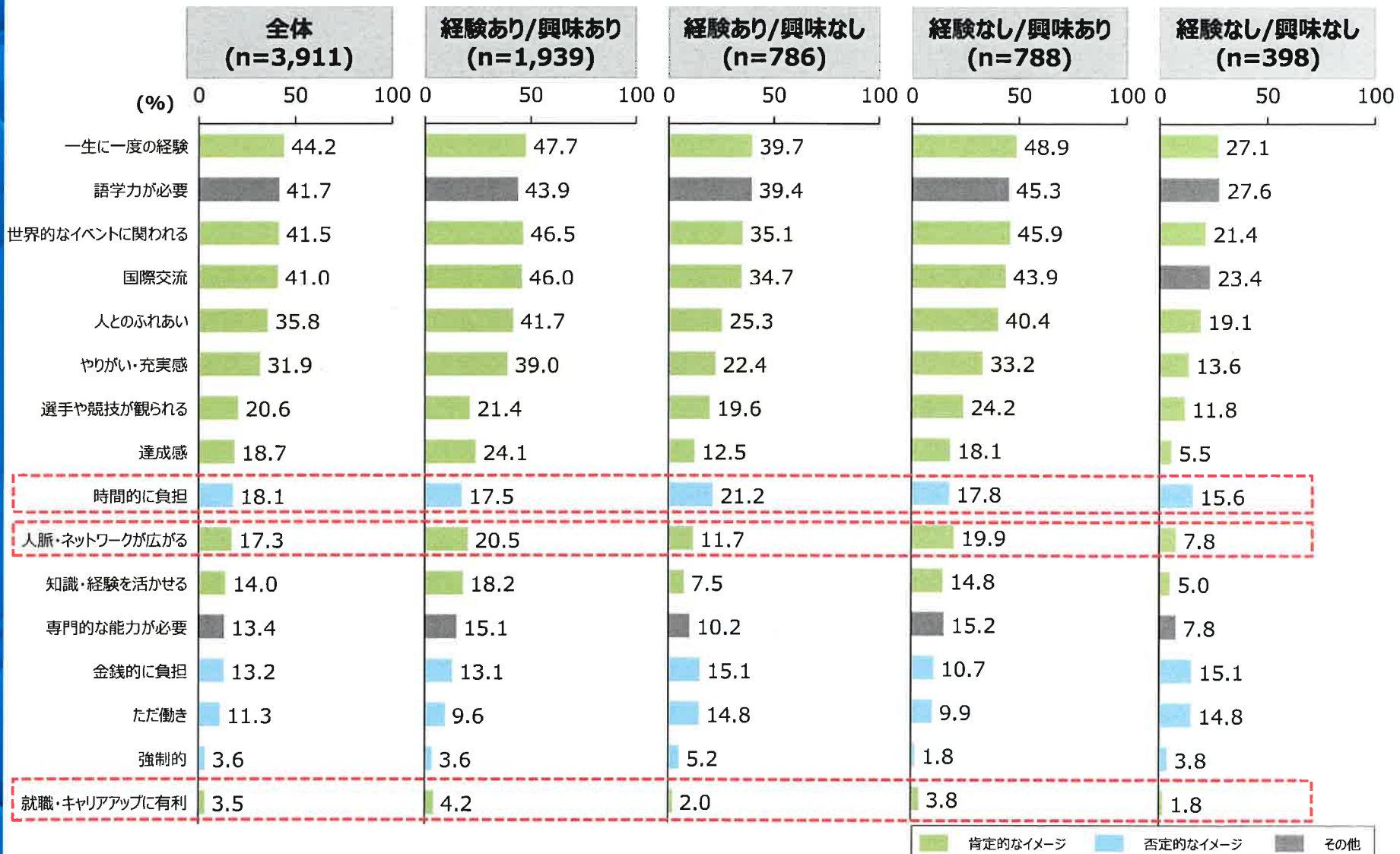
ボランティアに対するイメージ

(%, n=3,911)



東京オリンピック・パラリンピックボランティアのイメージ × 経験・興味有無

ボランティアに興味がある人ほど、「人脈・ネットワークが広がる」・「就職・キャリアアップに有利」と捉えている人が多い。しかし興味ない人ほど「時間的に負担」としている人が多い。経験・興味共がない人は、全体的に否定的にボランティアを捉えている



Q25 あなたは、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のボランティアに対して、どのようなイメージをお持ちですか。あなたのお気持ちにあてはまるものを、いくつでもお答えください。

東京2020オリンピック・パラリンピック大会のボランティアに対するイメージについて

2020年オリンピック・パラリンピック大会のボランティアに対して、「ただ働き」というネガティブなイメージだけを持っているのは、ボランティア活動全般に関心がない人に限っても、わずか7パーセント程度でした。

過去にボランティア経験はあるが、現在はボランティアに興味がないと答えた人（786名）に、東京2020オリンピック・パラリンピック大会のボランティアに対して、どんなイメージを持っているかを聞いた。

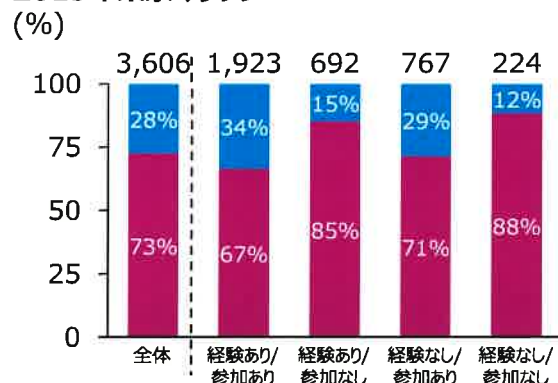
「やりがい」「達成感」などポジティブなイメージを連想させる言葉を選ぶことなく、「**ただ働き**」に回答した人は全体の7.6%だった。

また、過去にボランティア経験がなく、かつ興味もないと答えた人（398名）の場合は7.8%だった。

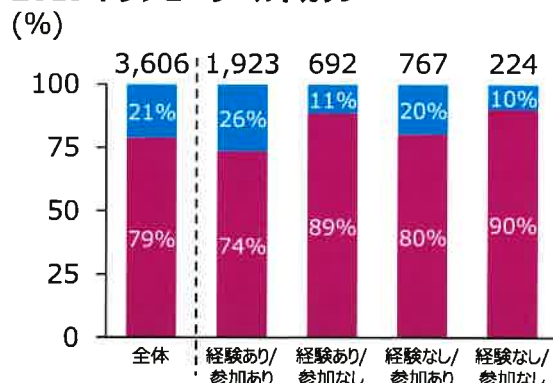
今後参加してみたいボランティア・社会貢献活動×特定のイベントへの参加興味

東京オリンピック・パラリンピックに対する参加興味は他イベントに比べ、高くなっており、オリンピックでは57%、パラリンピックでも47%となっている。オリンピックに関しては経験・興味なしのグループに於いても38%とその他イベントを上回る

2019年東京マラソン

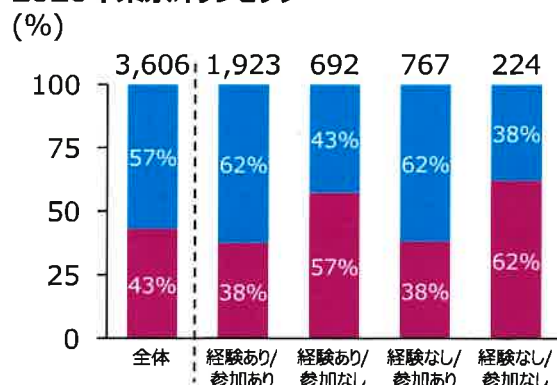


2019年ラグビーワールドカップ

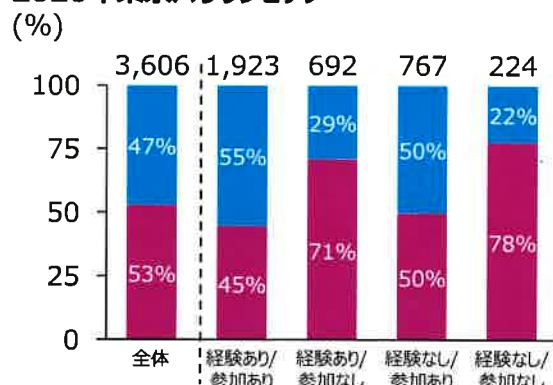


- どのグループにおいても2019RWCよりも東京マラソンへのボラ参加希望率は高い
- また、経験あるなしに関わらずボラ参加興味がある人は、今後スポーツや人権、NPO・NGOに関する活動に関わりたいたした人が圧倒的にこれらのイベントへの参加希望率が高かった

2020年東京オリンピック



2020年東京パラリンピック



- 東京マラソン・RWCに比べ、オリパラ共にボラ参加希望率が高くパラリンピックのボラ参加希望率も47%と高い
- オリパラ共に今後参加してみたいボラ活動の種類に関わらず、全体を通じボラ参加希望率が高い
- 経験の有りに関わらずボラ参加興味がない人では、パラへのボラ参加希望率は比較的低い

■ 参加したい ■ 参加したくない

Q2 あなたが、今後参加してみたいボランティア・社会貢献活動をお答えください。(いくつでも)
Q11 あなたは、以下のスポーツ大会で、ボランティア・社会貢献活動に参加してみたいと思いますか。